

環境パフォーマンス -Environmental Performance-

事業所活動が環境に与える影響を測定、監視しています。
これらの情報を参考に、環境コンプライアンスを推進しています。

環境パフォーマンスデータ（エネルギー、水、化学物質、廃棄物） -2018年度-

INPUT										
拠点	エネルギー使用量						水使用量[m ³] (※1)	化学物質 取扱量[t] (※2)		
	購入電力[MWh]	灯油[kL]	軽油[kL]	ガソリン[kL]	LPG[t]	都市ガス[km ³]				
本社・東京	2,580	—	0.1	0.1	1.6	22.8	13,577	—		
新潟工場	5,918	1.5	0.1	0.6	10.1	2.1	15,051	1.7		
大宮SC	119	—	—	—	—	—	—	—		
FJFS(前橋)	815	—	—	—	—	—	—	—		
合計	9,432	1.5	0.2	0.7	11.7	24.9	28,628	1.7		

OUTPUT											
拠点	エネルギー使用に伴うCO ₂ 排出量[t-CO ₂]						排水量 [m ³]	化学物質 排出量 [t] (※2)	廃棄物発生量[t]		
	購入電力	灯油	軽油	ガソリン	LPG	都市ガス			サマール リサイクル	マテリアル リサイクル	最終 処分量
本社・東京	1,471	—	0.2	0.2	4.7	51.1	13,577	—	19.8	6.7	—
新潟工場	3,373	3.8	0.2	1.6	30.3	4.4	15,051	1.4	130.6	22.6	1.8
大宮SC	68	—	—	—	—	—	—	—	—	3.1	—
FJFS(前橋)	464	—	—	—	—	—	—	—	—	14.1	—
合計	5,376	3.8	0.4	1.8	35.0	55.5	28,628	1.4	150.4	46.5	1.8

※1：2015年度実績の報告より、本社・東京工場および新潟工場の地下水は計上せず。
※2：化学物質の管理対象については、富士通グループの規定に準ずる。（法令管理対象外物質のうち、少量使用品は除く。）

環境パフォーマンスデータ（法規制順守状況） -2018年度-

新潟工場一地下水 単位：【mg/L】 測定箇所：7箇所				本社・東京工場一地下水 単位：【mg/L】 測定箇所：4箇所			
主な測定項目 (※1)	測定値 (※2)	法基準	自主管理 基準	主な測定項目 (※1)	測定値 (※2)	法基準	自主管理 基準
鉛及びその化合物	<0.001~0.001	0.01	0.005	鉛及びその化合物	<0.002	0.01	0.005
六価クロム化合物	<0.01	0.05	0.025	六価クロム化合物	<0.005	0.05	0.025
砒素及びその化合物	0.002~0.032	0.01	0.01	砒素及びその化合物	<0.001~0.002	0.01	0.005
ふっ素及びその化合物	<0.08~0.15	0.8	0.4	ふっ素及びその化合物	<0.08	0.8	0.4
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	0.04	0.02	シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	0.04	0.02

新潟工場一排水 単位：【1L中】 測定箇所：2~8箇所(※3)			
主な測定項目 (※1)	測定値 (※2)	法基準	自主管理 基準
水素イオン濃度(pH)	6.7~7.7	5.8~8.6	5.8~8.6
生物化学的酸素要求量(BOD)	0.9~6.6	25	25
浮遊物質(SS)	2~22	90	72
ほう素及びその化合物(mg)	<1.0	10	5
ふっ素及びその化合物(mg)	<0.8	8	4

※1：その他の測定物質については、法基準値（自主基準値含む）内で推移。
※2：測定項目ごとに、すべての測定箇所における最小値（「<」=定量下限値未満含む）、ならびに最大値を記載。
※3：物質の種類によって、測定箇所・測定場所をそれぞれ設定。

環境会計 -Environmental Accounting-

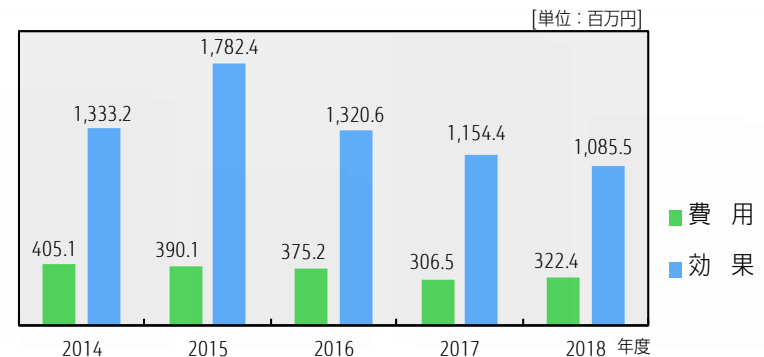
2018年度は、発生費用は3.2億円、効果合計は10.9億円で、費用対効果は7.6億円となり、2017年度比-0.8億円で10%減少しました。

2018年度環境会計の結果

主な内容として、地球環境保全などの効果が増加した一方で、国内営業店端末が展開の端境期だったことなどにより研究開発の効果が減少したため、収支は前年度比マイナスでした。

前年度比内訳（2017年度比）

発生費用：△ 15,911千円（306,546 ⇒ 322,457）
効果：▼ 68,869千円（1,154,391 ⇒ 1,085,522）
収支：▼ 84,779千円（847,845 ⇒ 763,065）



2018年度環境会計の実績

()内は前年度比 [単位：百万円]

項目	主な範囲	費用	効果
事業エリア内	公害防止	18.8 (+0.1)	17.2 (+0.8)
	地球環境保全	53.8 (+11.9)	26.4 (+1.5)
	資源循環	82.2 (+3.9)	67.2 (-1.5)
	小計	154.8 (+15.9)	110.8 (+0.8)
上・下流	廃棄製品リサイクル、グリーン購入など	22.8 (+1.2)	7.7 (-0.5)
管理活動	ISO14001、環境教育、情報システム化など	63.7 (-1.4)	38.6 (+3.7)
研究開発	製品への環境配慮技術の研究など	81.1 (+0.2)	928.4 (-72.9)
社会活動	環境保全団体への寄付、支援など	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
環境損傷	土壌、地下水汚染の修復など	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
	合計	322.4 (+15.9)	1,085.5 (-68.9)